

## 北九州市立医療センター

研修医 谷口 寛 2017年1月

北九州市立医療センター初期研修医2年目の谷口寛と申します。地域医療研修プログラムとして2017年1月に1ヶ月間、出水市で研修させて頂きました。前半の2週間は野田診療所、高尾野診療所、出水保健センターで、後半の2週間は出水総合医療センターで研修させて頂き、研修期間中に2回上場診療所でも研修させて頂きました。

私は福岡県出身で、鹿児島県に今まで足を踏み入れたことはなく、今回が初めて鹿児島県を訪れる機会となりました。研修初日は、初めての地で研修するという不安と緊張であまり夜も寝付けなかったことを思い出します。蓋を開けてみれば、指導して下さる先生方をはじめ、出水の方々はみんな優しく、緊張感なく充実した研修を送ることができました。

野田診療所では、腹部エコーや心エコー、上部消化管内視鏡検査などの検査や初診の方の外来、往診での診察を経験させて頂きました。エコーや内視鏡検査は今まで見学のみで、実際に自分で行ったのは初めてでしたが、手取り足取り教えて頂き、非常に良い経験ができたと思います。

高尾野診療所では、慢性疾患のある方の外来や外傷患者や皮膚疾患患者の処置などを経験させて頂きました。外来は1日20人ほど担当させて頂き、今まで私が経験してきた以上の数を3日間で経験させて頂いたと思います。

出水保健センターでは、母子健康相談や3歳児健診を経験させて頂きました。現場では保健師や看護師など多職種の方々が、悩みを抱えている母親に適切なアドバイスをしている姿が見受けられ、よりよい育児環境を構築するために多くの方が関わっていることを改めて実感しました。

上場診療所では、へき地医療を経験させて頂きました。医療機器が豊富ではない環境下での診察は非常に緊張しましたが、問診、身体診察の重要性を改めて考えさせる良い機会になったと思います。また、これは往診でも実感したのですが、診察に来られた方々はみんな診察を待ち望んでいた様子で、診療所は地域での医療を支える上で必要不可欠なものであると感じました。

出水総合医療センターでは、総合内科を中心に、医療安全管理室、地域医療連携室、リハビリテーション技術科、臨床検査科、臨床工学科、看護部といった多職種の方の業務を研修させて頂きました。総合内科では、初診の方の外来を担当させて頂きましたが、症候からの鑑別や診察方法がまだまだ不十分であることを痛感しました。今回の経験を活かして、今後より一層勉強していきたいと思います。また、多職種の方の業務を実際に経験することで、チーム医療の重要性を学ぶことができました。

最後になりましたが、ご多忙の中熱くご指導して頂いた先生方をはじめ、関係者の方々、そして診察させて頂いた患者の皆様へ、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今回の貴重な経験を活かして、今後の診療にも取り組んでいきたいと思っています。